

令和5年度（荏田高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	不祥事防止に係る 法令遵守意識の醸 成・向上	・研修会や朝の打ち合わせ等を活用し、タイムリーに注意すべき事項を伝達する等、日頃から事故・不祥事防止に係る確認を行うことにより、服務規律遵守の意識を醸成、向上することができた。
職場の ハラスメントの防止	セクシュアル・ハラ スメント、パワー・ ハラスメントの防止	・研修会等を通じ、ハラスメント防止の意識を醸成することにより、職員相互の情報共有や意見交換が行われ、ハラスメントのない職場を保持することができた。
生徒に対する わいせつ・セクハラ 行為の防止	わいせつ行為等 不適切な指導の防止	・研修会における事案の紹介等の情報提供や、研修動画の視聴等を通じ、未然防止の徹底に取り組んだ。今後も、事故・不祥事防止の重点課題として認識を持ち、継続して取り組んでいきたい。
体罰、不適切な指導 の防止	体罰、不適切な指導 の根絶	・部活動指導を中心に、熱心な指導と体罰や不適切な指導は異なることの周知・徹底を図り、事故・不祥事の未然防止に取り組んだ。
入学者選抜、成績処 理及び進路関係書類 の作成及び取扱いに 係る事故防止	入学者選抜学力検査 の事故防止	・令和5年度は、入学者選抜業務が大きく変化したこともあり、入選委員を中心とした業務分担を徹底し、実際の業務にあたった。 ・今年度の経験を受け、今後、業務実施体制を精査し、ミスなく、過度の負担もない業務体制を確立する。
個人情報等の管理、 情報セキュリティ 対策	保護者承諾書、持ち 出し手続き等の徹底	・個人情報の持ち出しや、学校説明会に伴う個人情報の収集等について、手続きの徹底に取り組み、事故なく業務を実施することができた。
財務事務等の 適正執行	私費会計基準の基 づく適正な私費会計事 務処理の徹底	・私費会計基準等を全職員が正しく把握し、適正に事務処理を行うことができるよう、周知と徹底に努めた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

本県においては、依然として、社会人、公務員、教職員としてあってはならない不祥事が発生しており、法令及び服務規律の遵守が全職員に徹底されているとは言い難い。そのため、本校においても、職員一人ひとりに対して教職員として守るべき義務等を示し、理解と徹底を促す取組を継続して行く必要がある。

特に、わいせつ事案については、熱心に指導することが、職員はもとより生徒の感情の変質に繋がるといったケースが散見される傾向にあり、個別での対応にならないことやオープンな環境で指導することなどを一層徹底し、引き続き未然防止に取り組む必要がある。

その他の課題も含め、令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況としては、概ね達成できたと考えられ、令和6年度についても、継続して取り組んでいく。